

## 「火渡り」今年は大吉 浜松

火防の神として信仰を集める浜松市西区篠原町の秋葉山分院保泉寺（榊原和則住職）で18日夜、明治時代から続く伝統行事「火渡り」が行われた。燃え盛る炎の上に舞い上がる大だこの滞空時間で今年の吉凶を占う儀式では、「大吉」との結果が出た。

境内に組まれた護摩木の上に、和紙で作った3畳ほどのたこを抱えた白装束姿の行者が立ち、周囲から火が放たれた。炎が燃え上がり、行者がたこを放つと、立ち上る熱風を受けて約2分半、宙に舞った。

火勢が弱まると、残った炭火の上を、行者を先頭に参拝者が次々と素足で渡り、「無病息災」や「心願成就」などを祈った。

（浜松総局・小糸恵介）



炎が燃え盛る中、大だこを放つ行者＝18日午後8時ごろ、浜松市西区の秋葉山分院保泉寺

2018年1月19日 朝刊

①写真の「大だこ」に○印を付けましょう。

②大だこが宙を舞うのは、どうしてでしょうか。

[

]

③新年に祈りたいことを書きましょう。

[

]

年 組 名前

（小学校高学年 総合）